

São Brás de Alportel

について



サン・ブラス・デ・アルポルテル

この村の親しみのある住民は、今でも静かでのんびりとしたライフスタイルを保っています。白塗りの家々が並ぶ通りやその並びを遮るように高くそびえ立つ教会や鐘樓の輪郭、町の周りを囲み、海を一望する環状の丘や山並みは、アルガルヴェ（Algarve）地方の典型的な町、サン・ブラス・デ・アルポルテル（São Brás de Alportel）の素朴な魅力となっています。

よく見られる典型的な軒の低い白壁の家々と並んでより大きな建物が建っています。これらの建物はファサードがタイルで装飾され、凝った石造り、鉄製のベランダを持ち、その華麗さはコルク産業が活況を呈した時期におけるサン・ブラス・デ・アルポルテルの繁栄を思い起こさせます。

町の変わりゆく運命の浮き沈みは通りや広場の石に記されていますが、エписコパル宮殿（Paço Episcopal）近くのパス・ダ・パイシャム（Passo da Paixão）のバロック様式の漆喰の装飾や窓辺の美しい花のポットといったものもその話にいっそうの彩りと興味を添えています。